

## Evaluate & Assess

### 合成系原材料 (インドネシア・台湾・タイ・マレーシア・ベトナム)

影響	移行リスク	機会
合成系原材料における一次形態の製造や紡績加工における不適切な化学物質管理や廃棄物処理により水質や土壌が汚染される。	合成原材料における一次形態の製造拠点や紡績加工拠点が、絶滅危惧種の生息密度が高い地域に立地し、不適切な化学薬品や排水の管理があった場合、生態系の劣化を招き、規制当局の監視やNGOからの圧力、アシックスの評判低下につながり、最終的には市場の信頼や売上に悪影響を及ぼす可能性がある。	ステークホルダーと連携して、自然への影響が少ない原材料への切替や、ソリューションダイなどの水使用量が少ない染色技術の利用などを推進することで、合成系原材料における一次形態の製造拠点や紡績加工拠点周辺的环境負荷低減につながる可能性がある。

### 天然皮革 (アメリカ・ブラジル)

影響	移行リスク	機会
牛の飼育における土地利用変化(農地開発)により森林が破壊される。	農地開発された土地での牛の飼育により森林が破壊された場合、自然への影響に関する報告義務などの規制が強化されることで、罰金などのコストが増加、また規制対応ができていないサプライヤーへの切替コストが増加する。	Run for Reforestationチャレンジなど、失われた自然を回復する取り組みを推進することで、破壊された森林を回復することにつながる。天然皮革のうちLWG認証レザーの調達量拡大を図るなど、自然への影響を低くする取り組みを推進することで、自然への影響に関する報告義務などの規制への対応が可能となり、罰金などのコストが減少、またサプライヤーへの切替コストも削減できる。

### 綿 (綿花栽培: オーストラリア・パキスタン/紡績など: ベトナム・スリランカ)

影響	移行リスク	機会
綿の紡績や仕上げにおける過程において、不適切な水の使用や汚染物質の排出により、水質や土壌が汚染される。	サプライヤーにおける綿の紡績や仕上げによる過程で大量の水を使用、もしくは汚染物質の排出により水質や土壌汚染が発生した場合、顧客からのサプライヤーの自然資本毀損に対する糾弾が発生し、アシックスのブランドイメージの低下につながり、売上が減少する。	水使用量が少ない染色技術の利用など自然への影響を低くする取り組みを推進することで、サプライヤーの紡績や仕上げ工場周辺的环境負荷低減につながる。
依存	物理リスク	機会
綿花栽培において水供給に大きく依存しており、降水量や地下水位の気候変動による変化に敏感。	綿花は水に大きく依存している。水資源がひっ迫している地域では、淡水の利用可能量の減少や水質の悪化が加工工程を妨げ、処理コストを引き上げる可能性がある。	環境負荷の低い認証材の使用など自然への依存を低くする取り組みを推進することで、天然綿花の持続的な調達が可能となる。